



いわゆる医療通信 脳卒中により引き起こされる疾患

誤嚥性肺炎の予防

今回は「脳卒中により引き起こされる疾患」として誤嚥性肺炎の原因と症状について紹介しました。今回はその予防方法について説明します。

ハビリテーションなど、誤嚥の予防が中心となります。

予防のためには是非行わないければならないことです。

に効果がありますが、必ずしも「うがい薬」を使う必要はありません。ぬるま湯で口をすすぐだけでも清潔を保ち、睡眠中に気管支へ唾液が流れ込んでも、気管支内での菌の繁殖を最小限に抑えることができますので、習慣として実践するうちに心がけましょう。

誤嚥性肺炎の再発を繰り返すと、抗菌薬が効きにくい「耐性菌」が発生します。そのため、優れた抗菌薬治療が開発された現在においても治療が困難なことが多く、高齢者の死亡原因のひとつと考えられています。

日本の高齢者は、欧米とは異なり食べるスピードが速く、それが誤嚥の大きな原因となっています。70年以上続いた習慣を変えるのは難しいことですが、肺炎

加えて食後の口腔ケアを行うことも重要で、これは口の中の雑菌を減らし、嚥下反射を改善させる効果があります。食後はすぐ横にならないようにして、最低でも2時間は体を起こしている必要があります。テレビを見る習慣のある方は、体を起こした位置でテレビが見られるようにするなどの工夫が必要です。

就寝前にも口腔ケアを行うとさら

治療よりも予防に重点が置かれているのはそのためで、特に誤嚥した内容物や喀痰の排出のための呼吸リ

は難しいことですが、肺炎

ケアを行うとさら

岩手医科大学は2017年に創立120周年を迎えます



誠のあゆみ、未来へつなく



岩手医科大学